

# 筒台会報

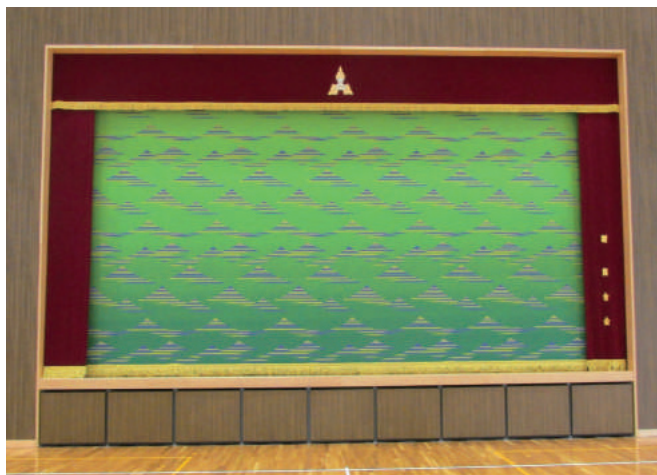
発行所

神戸市立葺合高等学校筒台会  
〒651-0054 神戸市中央区野崎通1-1-1  
TEL078-291-0771(葺合高校事務局) TEL078-291-4000(筒台会事務局)

ホームページ <http://www.todaikai.net>

編集・印刷

三和印刷株式会社  
〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-21  
TEL078-431-3981



筒台会寄贈の織帳



平成26年2月に完成した体育館・北館



平成25年12月に完成した本館（校舎棟）



平成28年6月完成の新校舎予想図

- 目次..... 1
- 「ごあいさつ」..... 2  
筒台会会長 古川 浩
- 「筒台会東京支部活動報告」..... 2  
筒台会東京支部長 大政直人
- 「未来の希望わが胸に」..... 3  
校長 西尾 勝
- 葺合高校の強さ：「つながっている」こと ..... 3  
教頭 清家 豊
- 「伝統を継承しつつ」..... 3  
教頭 中 正和
- 寄稿 筒台会だより..... 4～

- 母校トピックス..... 9～
- 平成27年度教職員移動..... 11
- 部活動の主な成績／卒業生進路状況..... 12
- フェニックス賞..... 13
- この人に聞く..... 14～
- 会員の皆様へお願い..... 16
- 広告..... 20～
- 平成27年度 筒台会役員(案) ..... 26  
平成27年度 筒台会定時総会・懇親会次第
- 会計報告・予算案・会計監査報告・会務報告..... 27
- 平成27年度 筒台会・筒台会東京支部  
総会・懇親会のご案内..... 28



## ごあいさつ

筒台会会長  
古川 浩 (高校18回)

筒台会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、学校当局をはじめ筒台会役員・幹事及び会員の皆様には同窓会の活動に対し絶大なるご支援・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

母校において、去る2月27日に筒台会入会式、翌28日にはギリギリ間に合って完成した体育館で厳粛な卒業式が行われました。学生生活の殆どの期間を校舎の改築工事で不自由な生活を余儀なくされた生徒たちは、新体育館で卒業式が執り行われ、感激もひとしおだったと思います。新会員（普通科67回198名・国際科12回87名）計285名を迎える事で、総会員数も24,300余名となり大変大きな組織となりました。

校舎全体の完成は平成28年ではありますが、先にご紹介しました新体育館が完成時において、筒台会より「緞帳」他を寄贈致しました。原資といたしましては先の予算案にお示し致しました通りですが、大先輩方が当初、同窓会館の建設を目指してご寄附を集められ長年ご賛助会費の名目>温存されてきた浄財をこの機に使用させていただきました。

母校においては校舎が立派になるだけでなく、昨年、文科省よりSGH（スーパーグローバルハイスクール）の指定（全国で56校・県下で3校）を受けるなど目を見張る躍進が続けられています。我が筒台会といたしましても母校に負けず、より一層の結束を図り発展をして行かねばなりません。

### 「筒台会活動の三本柱」と銘打ち

#### ◎会員相互の親睦と向上を図る

総会・懇親会への参加促進、同期会・OB・OG会FSC2000・筒台クラブ等々との連携強化

#### ◎筒台会報の充実を図り全会員に配布を目指す

5年に1度の筒台会名簿の発行

#### ◎母校及び在校生支援の強化

教育推進費・国際協力金・部活動支援金等々

活動の強化を継続してまいります。

母校の校舎が全て完成されるまで、まだ年月が残されておりますが、筒台会といたしまして全力を挙げて支えていかなければなりません。引き続き「運営協力金」にご協力頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、今期において高5回有志の方々よりのご指摘により母校の沿革図表が修正されております。母校HP・筒台会報及びHPIに記載されておりますのでご確認下さい。

来る6月27日（土）には筒台会総会・懇親会が開催されます。

[友は宝、宝の山、筒台会]会員相互の絆の強さ・深さのご確認に多数のご参加をお待ちいたしております。

最後に会員の皆様方の変わらぬご指導・ご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



## 筒台会東京支部活動報告

筒台会東京支部 支部長  
大政 直人 (高校24回)

筒台会の皆様こんにちは！

支部長3年目の大政直人です。東京支部の総会・懇親会は毎年5月の第4土曜日に開催しています。今年も5月23日17時から、ここ2年使っている新宿の、小田急ホテル・センチュリーサザンタワー 21階パルクームで開催いたします。

それに続いて東京支部の大きな行事は、年2回開催している「語る会」です。例年2月と9月に筒台会会員の中から一人をお願いして、自分の仕事内容などについてお話して頂きます。

去年の9月20日にはスペシャルバージョンと題し、ジブリ映画「千と千尋の神隠し」「ハウルの動く城」のテーマを作曲し歌っている木村弓さんに、ライア（小型のハーブ）の弾き語りで6曲を歌ってもらい、またお話をさせて頂きました。その次の会は今年の2月21日に、神戸から株式会社サンビルダーの会長である拙浩二さんにお越し頂き、「日本人の知らない素晴らしい日本」という、とても興奮する内容のお話をさせて頂きました。

それ以外にも様々な同好会活動を行っており、主に渡部前支部長が企画される「鎌倉同好会」「寄席同好会」「歌舞伎同好会」などほぼ毎月何らかのお楽しみ企画があり、会員が顔を合わせています。

会員数はおよそ700名ですが、これからも会員が楽しめる様々な企画を打ち出し、また若い人が参加しやすい行事も考えていきたいと思っております。

本部の皆様にはこれまで同様の温かいご支援をよろしくお願ひします。



平成26年9月20日（土）語る会



平成26年5月24日（土）東京支部総会・懇親会



## 未来の希望わが胸に

校長  
西尾 勝

薫風爽やかなころとなりました。筒台会の皆様には平素より本校教育活動へのご支援、ご協力をいただいていますことに厚く御礼申し上げます。

「眸（ひとみ）放てば遠く茅渚の海 展けて青しこの船路 世界に通ふ大いなる 未来の希望わが胸に ひびく明るさ讃え拓かむ」～葦合高等学校校歌～

1期工事で平成25年12月に完成した本館（校舎棟）5階から眺めるさまは、まさに本校校歌にあるそのままの明るく輝く海の風景が広がっています。そして、今年2月に完成して間もない新体育館での卒業式で巣立った国際科、普通科合わせて287名が母校葦合高校との絆である筒台会に入会しました。

旧校舎の解体と新校舎の建設が始まったのは、筒台会の一員となった今年の卒業生が入学した時からでした。彼らの葦合高校の生活は仮設校舎から始まりました。教育活動が十分に行えるよう、安全面も含めて配慮して進めてはきましたが、彼らの協力と理解がなければできなかったと感じています。旧校舎・仮設校舎からの教室移動の素早さ。仮設廊下のルールに沿った使い方。水道や電気が止まった時の冷静な対応。引越し作業で、苦勞している時、当然のように手を差し伸べた力を尽くす気遣い。工事に伴う諸々の不便不都合に、自らが出来ることを心地よい所作と真摯な態度で過ごしてくれました。そんな彼らたちだからこそ、卒業式に、体育館完成が間に合ったのだと思います。

また、26年度に文部科学省より指定された「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」としても着実に研究・実践を進めています。本校のSGH事業は、構想名を「神戸から綾なせ世界。共生への扉を開くグローバル・リーダー育成」とし、幅広い教養、問題解決力、語学力など、国際的素養を身につけたグローバル・リーダーの育成を図ります。そして、その構想名には、「世界の諸問題は独立しているのではなく、複雑に絡み合っている。だからこそ、世界の共生を実現するためには、世界中の人々を、心を、力を重ねるのではなく、織り合わせるにより（綾なせ世界）、さらに大きな力を生み出し、その力が世界の共生を実現可能にする（ひらけ共生）」という想いが込められています。この事業は5年間指定であり、2年目となる今年度もグローバル・リーダーの育成という使命に、教職員が一体となり更なる情熱を持ち、真摯に取り組んでいきます。

葦合高校の良さは、進化し続けることにあります。冒頭の本校校歌にありました「未来の希望わが胸に」筒台会の諸先輩方が連綿と築き上げてこられた伝統と歴史を継承しつつ、新しい教育環境の整備と新しい教育活動の創造に向けて、全力を尽くしてまいります。

筒台会会員の皆様には、これまでも増して本校の発展を見守っていただきますとともに、変わらぬご支援とご協力をよろしく願います。



## 葦合高等学校の強さ： 「つながっている」こと

教頭  
清家 豊

筒台会の皆様方には、本校の教育活動に対して、平素より多大なご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。皆様方の手厚いご支援により、葦高生は充実した毎日を送っています。

私は教育委員会事務局に3年間勤務し、今年度、歴史ある葦合高等学校に赴任してまいりました。事務局勤務の前は、1年間ではありますが、この葦合高等学校にお世話になっており、再び葦合高等学校に勤務できることはこの上ない喜びです。

着任式での挨拶として、葦合高等学校の強みとして私が感じることに話をしました。それは「つながっている」ということです。生徒一人一人が学級とつながり、学級が学年とつながっている。そして学年がそれぞれつながって学校を創っている。さらにそのつながりは卒業後も筒台会という形で継続し、それが「伝統」という葦合高校の文化を創り上げていると感じています。

さて、私の好きな言葉の一つに、Walt Disney氏の“All our dreams can come true, if we have the courage to pursue them. (すべての夢は叶う。追い求める勇気があるのなら)”というものがあります。有名な言葉ですから、ご存じの方も多いと思います。私は特に後半部分の、「追い求める勇気があるのなら」というフレーズが好きです。

夢を叶えることは決して簡単ではありません。しかし、求めて努力しなければ、夢は決して叶いません。途中でくじけそうになることもあります。そんなときにこそ、支えてくれる人が必要です。その支えてくれる「人」がこの葦合高等学校には多くおり、常に様々な形で日々の教育活動を支援しています。そして、筒台会にもその一翼を担っていただいていることに感謝し、同時に心強く感じています。

今、葦合高等学校での一ヶ月が過ぎようとしています。葦合高等学校の一員となった喜びとともに、その責任の大きさをひしひしと感じています。これまで生徒たち、教職員、そして筒台会の皆様方が一つとなって創り上げてきたものが、さらに魅力を増していけるよう、微力ながら努力していきます。そして葦合高等学校の強さの一つである「つながり」の一端を担えたらと思います。今後とも、筒台会の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしく願います。



## 伝統を継承しつつ

教頭  
中 正和

筒台会の皆さまには日ごろより多大なご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

校舎も年々新しくなり、生徒達の学校生活、教育活動の場も充実してまいりました。今年2月には第2期工事が完了し2月20日に体育館棟、北館の引き渡しを終え2月27日に新築の薫りの中、卒業式を挙行し285名が葦高の誇りを胸に、さらなる夢の実現をめざし巣立っていきました。体育館棟の設備につきましては、皆さま方が「筒台の地」での思い出のこもった、新緑輝く山並みの風景デザインが描かれた綴帳を寄贈していただき、初めて目にしたとき、そのすばらしい伝統の思いに感動いたしました。

4月8日には新体育館での2回目の大きな行事として、入学式が行なわれ360名の新入生を迎えることができました。入学式後、古川会長との立ち話の中で「先生、新入生は入学して来たばかりなのに、大きな声でしっかりと校歌を歌っていましたね。すばらしい入学式でした。」とお褒めの言葉をいただきました。私も司会進行を進めていく中、新入生は、入学したい本校を目指し勉強し、夢と希望を持ち「葦合高校で頑張るんだ」という決意が伝わってきました。私たち教職員も一丸となり期待に応えられる教育活動、学校運営を行なっていきたいと思います。

学習面におきましては、昨年度から文部科学省指定事業であるスーパーグローバルハイスクールの取り組みで、生徒達は日本の伝統的な文化や現代の文化を学び、また諸外国の文化に触れることや、多様な文化を持った人々との交流を通じて、その考え方や価値観を受け止め、様々な文化への理解を深める能力を養い、自らの生き方を考える態度を育む教育を行なっています。今年1月30日には文部科学省、神戸市教育委員会をはじめ、全国の教育関係者を招き中間発表会を開催し、公開授業、生徒によるプレゼン、パネル展示など、日頃の取り組みを発表し、参加者の皆さまより高い評価をいただきました。

近年、国際社会化が進展し子供達が身に付けなければならない教育を推進していくため教員の業務も多忙化している面もありますが、未知の可能性を秘めた子供達の未来が輝かしいものとなるよう、本年度も職員と共に力を合わせ頑張っていきたいと思っております。

今後とも一層のご支援とご協力をよろしく願います。

寄稿



## 筒台会だより

### みんなの傘寿をみんなで祝おう

(高5回生) 永田 良

平成22年10月、「これが最終章になるかも？」と銘打って40名で催した5回生の同期会は、平成25年5月、「往時の余韻はまだ続く」として31名で開催、そして平成26年5月、「みんなの傘寿をみんなで祝おう」というわけで27名が三宮の「東天紅」に集まった。とにかく何かをキーワードにして集まりたがるのが5回生のカラーらしい。

この日集まった27名(男15、女12)、昭和25年4月入学時には、誰もが自分に80歳の日があることなど思いもなかっただろう。80歳という年齢がどんな心身状態をもたらすかなど、知るよしもなかった。

極楽寺の岡本幸信師が、物故者への合掌に先立って短い講話をしてくれた。その中で特に印象深かった言葉がある。

「過去の記憶、すなわち思い出というものを持ち得るのは人間だけです」確かに私たちは、すでに亡くなった恩師や友人たちの在りし日を思い出す瞬間を持っている。同期会で合掌を奉げる度に、故人と再会したような感情がよみがえる。

岡本師はこうも言われた。「みなさん年齢に関係なく、これからよい未来をめざしましょう。よい未来がすなわちよい過去(思い出)になるのですから」

過去といえば、今度の会で、私たち5回生の思い出かけない過去が参加者に突きつけられた。

昭和25年4月、新制高校初の選抜試験を経て私たちが入学したのは、なんと「葺合高校」ではない、というのだ。母校のホームページには、昭和25年4月の入学生(すなわち我われ)は神戸市立神戸高校に入学、その年の7月には神戸市立夢野台高校と改名、翌26年4月、やっと「神戸市立葺合高校」と再改名して今日に至っている、と記載されているという。まったく「寝耳に水」の情報で一同唖然。問題提起をしてくれた加藤、戸崎両氏が今後関係者と接触して、この問題の解明・解決に努める、との発言があり、全員了承した。



平成26年5月17日「みんなの傘寿をみんなで祝おう」於：東天紅



1951年秋の奈良遠足一若草山にて

今回は抽選で3卓に分かれての会食だったが、お店の人がすべての料理を人数分の小皿に取り分けてくれたので、各自マイグラス、マイ箸を持って移動し、各所で談笑する場面が多く見られた。

終宴直前の恒例校歌のコーナーでは、馴染みの1番、ウロ覚えの3番を斉唱。次回はほとんど歌ったことのない2番に光を当ててほしいという声も。

母校は現在建て替え工事の真っ最中。平成28年6月完成予定なので、次回同期会は「建て替え工事完成記念」というのがキーワードになるのかな。

### 卒業52周年同期会

(高14回生) 水口 研二



私達、高校14回生(昭和37年3月卒業)は、3組担任の川野先生のご来臨をいただき、今年もまた10月25日(土)午後1時からホテル北野プラザ六甲荘で、学年同窓会を開きました。

今年の代表幹事、5組の久保山毅君(風紀委員長 柔道部)の司会のもと、和やかに、そして楽しいひと時を過ごすことができました。

しかし、毎年毎年のことながら、次から次へと話題にこと欠かず、よくもまあ会話の弾むこと…つくづく仲間の面白さ、良さを感じました。

来年は5、6組の合同幹事で開催される予定です。14回生同期会も、遅ればせながら、いよいよ女性の時代の幕開けになるか…サプライズが楽しみです。

久保山君からのメッセージです。スナップ写真を添えてご紹介し、会の報告に変えます。

『11月になりめっきり秋めいてきました。皆様お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。』

今年度の同窓会も無事終えることができました。今回は川野先生をはじめ同窓生28名の参加でした。若干少なめの会合でしたが、終始和やかに進行できました。ありがとうございます。

今年は、千葉から本当になつかしい石田君(水泳部)も参加。また、山口県からは仙頭君も久しぶりに参加でした。和やかな会談の中、小島君(吹奏楽部)のハーモニカ、水口君(新聞委員 コーラス部)のギターとともに愛唱歌を楽しく歌いました。

また来年、元気にお会いしましょう。』



小島君 ハーモニカ演奏

川野先生ご挨拶



受付風景 相変わらずの美女軍団

## 卒業50年の記念の会 16回生の集い「ゆうかり会」

(高16回生) 志水 利達

高校16回生の同期会「ゆうかり会」は2014年11月7日、神戸ポートピアホテルで開催されました。今回が13回目となる会は、卒業50年の記念の会にもなりました。舞台正面には、今回もこの会の象徴である巨大な「ユーカリの木」のタペストリーが掲げられました。

竹内静夫先生は直前に体調を崩され、欠席となりましたが、神田民枝先生、梶田浩司先生が元気な姿で参加してくださり、母校からは西尾勝校長先生が、ご多忙の中を駆けつけてくださいました。卒業半世紀の区切りの会だけに、同期生77人の中には、初めて出席するために茨城県から泊まり込みで来た方、長年の闘病生活を克服した人など、懐かしい顔も集いました。

今回の幹事役は男子クラスの5組。進行役は、日本高校野球連盟（高野連）の元事務局長で現役理事の田名部和裕君。当意即妙のウイットの効いた話術で、会場を笑顔で包んでくれました。

会のスタートは、中山健二君のリードで校歌斉唱。続いて、すでに故人となられた恩師と級友に黙祷をささげました。西尾校長先生から、新校舎建設工事の進捗状況をうかがいました。さらに、16回生のシンボルである「ユーカリの木」が植樹できるスペースも確保している、とのありがたい報告には、「ゆうかり会」は、これからも母校の一端でとともに歩んでいける、との楽しい思いを感じることができました。

卒業半世紀を記念して記された「卒業50年に寄せて」（別項）を高島百世さんが朗読。棒を振り回しながら、林の中を右へ左へと歩き回るのが好きな「ゴルフ同好会」山歩きだけでなく、名所旧跡なども巡っている「歩こう会」4人で集まるのが大好きな「麻雀同好会」旅の一夜を楽しむ「オアシス旅クラブ」。そして、食事会を楽しんでいる「友遊会」と「三九会」。同じ趣味の仲間が集まっている会の活動を、各会の幹事がスライド付きで紹介。幹事役で男子クラスの5組からは、在学中に迷惑をかけた女性陣に、お詫びとしてハンカチがプレゼントされました。

話しが尽きない中で、フィナーレは「春爛漫と咲き匂う…」と、生徒歌の大合唱。次回の幹事役の6組にバトンを渡して、アッという間の2時間余りの会の幕を閉じました。

## 卒業50年に寄せて

私たちは、暮らしも、世の中の風景も、そしてさまざまな事が大きく変わった時代に尊い生を受けました。そして1961年、筒井台の地、葺合高校に入学しました。360人余りの新入生。お互い顔も、気心も、なにも知らない者の集まりでした。そんな1年生が体育大会で総合優勝を果たしました。さらに2年生、3年生。なんと3年連続して総合優勝の偉業を、成し遂げたのです。この記録はいまだに破られていない、とのことでした。

卒業後の道は、当時テレビ、ラジオから流れていた「高校3年生」の歌そのままに「それぞれ分かれても」になりました。しかし、同じ歌詞の中にあった「クラス仲間はいつまでも」の気持ちは消えることなく50年間、続いてきました。そしてこれからも続いていくに違いありません。

第1回の「ゆうかり会」が開催されたのは1982年、昭和57年と聞いています。世話役を各クラス持ち回りで務め、最近は2年ごとに集い、今回は13回目を数えます。16回生の団結力は揺るぎなく、きょう、ここに弾んでいます。

世の中は揺れ動いた半世紀でした。私たちが卒業した年の秋、東京オリンピックが華やかに開催されました。1970年には大阪万博が開幕するなど、日本経済は高度の経済成長を果たし、私たちの日常生活は、便利な時代となりました。しかし、地価狂乱の中にバブルが押し寄せ、そして破たん。1989年に年号が昭和から平成へと移り変わり、1995年1月17日。私達には忘れることのできない未曾有の災害となった阪神・淡路大震災が発生しました。被災された皆様はもとより、幸いにして被災を免れた方々の心にも深く残り続ける出来事となりました。

さまざまな喜怒哀楽の日々が繰り返された50年。それぞれの場面に立ち向かい、励まし合い、喜びを見つけて一歩一歩、歩いてこられたことと思います。その一歩を大切に、また一歩を踏み出しましょう。

母校は2016年6月の校舎建て替え完成を目指してラストスパートに入っています。体育館の前にそびえ立っていた「ユーカリの木」は、伐採されてしまいました。でも安心してください。建て替えが終了した時点で、苗木が植樹されることになっています。

植樹は、来年6月に母校で開催される「ホームカミングデー」の日に行う予定です。この日はまず、新校舎の教室で、今日ご出席いただいている神田先生。そして、本日は残念ながら体調を崩されてご欠席となりました竹内先生との、お二人による「懐かしの授業」が開かれ、授業の後に植樹祭を行います。先生の授業はもちろん、植樹祭にも多くの人の参加をお願いします。

ユーカリは新たな歴史を刻み始めます。私達「ゆうかり会」も負けてはいられません。人生100年と呼ばれる時代になろうとしています。ユーカリの苗木を、みんなで見守っていきましょう。青々と茂るユーカリの木のように、いつまでも若々しく「クラス仲間はいつまでも」。笑顔を決やさず、明るく生き抜きましょう。

## 地車祭りとは郷土意識

(高21回生) 和田 利重<平野地車保存会会長>

男子フィギュアの「羽生結弦」選手が、ソチオリンピックの優勝を祈願しに訪れた神社として、新聞・テレビに取り上げられ、羽生選手が金メダルを獲得するや、遠方からも多くの参拝者が訪れ、一層有名になった弓弦羽神社。阪急・御影駅の南東徒歩一分のところにあります。

毎年五月三、四日、弓弦羽神社の春祭りがおこなわれ、氏子八町・八基の地車による町曳き、宮入（五月四日）がおこなわれます。

鉦（かね）や太鼓のだんじり囃子が鳴り響き、「エンヤホー、エンヤホー」「オシタホー、オシタホー」と、若衆や子供たちの勇ましい掛け声が、静かな街のなかにこだまする。

物心ついた子供のころから祭りが近づくと、ウキウキしたものです。（今でもそうですが）

地車（だんじり）は、「所変われば、品変わる」の言葉のとおり、曳行されている土地土地によって大きさや形、装飾も多種多様に異なります。

「平野」の地車は、神戸型といわれるものです。他町と比べると、少し小ぶりですが、動物や花鳥風月が中心の彫刻は落ち着いた風格を漂わせています。

神戸型地車の大きな特徴は、「台木の外側にコマがつく＝外ゴマ」「見送りには彫刻が施されない幕式」「腰回り八本柱の土呂幕左右片側三面の彫刻が施されている」などです。

祭りは、多くの人の支えにより、成り立っています。まず、若衆、曳き手の若者がいないと地車は動きません。年寄が地域を回ってこそご祝儀が集まり、祭全体が動いていきます。子供は、小さい頃から地域行事に参加することによって、郷土意識が育まれます。

女性は、朝早くからおにぎりをつくったり、賄いなどの裏方を担っていただいています。

準備から後始末も含めて全部祭りであると考え、婦人部抜きでの地車祭りは成り立ちません。もっとも重要なのが地域住民の皆さまです。物心両面の支えがあるからこそ、祭りが挙行できるのです。祭りは、やる方も見る方もふくめて祭りで。

この行動力・人間関係が、地域活動を支え、「いざ」というときにおおいに役立つのです。

(阪神淡路大震災の時も、地域の力を発揮)

地車祭りは、地域のコミュニケーションの場として、また、青少年の育成の場として重要な位置を占めています。



## 2014年21期会 合同クラス会

(高21回生)

11月9日、この日はあいにくの小雨のぱらつく日曜日になったのですが、お昼前には久しぶりの面々が集まってきます。「久しぶり」、「元気だった」などの声があちらこちらで聞こえ始め、やがて昔話や、よもや



ま話で会場が埋め尽くされていきます。そして休日の午後がゆったりとした時間の流れの中で、友との語らいに時を忘れていつしか夕暮れ時を向かえる頃になります。

そう、気が付けば5時

間近くも飲んで食べて喋っていたものね。今回は女性も出やすいようにと日曜日の午後を開かせて頂きました。会場もいつものホテルではなく地域の会館で、食べ物や飲み物の準備も大変だったけど何とか楽しめてもらえたのではと思っています。きっと楽しんでくれたよね。

準備に奔走してくれた幹事の皆さん本当にお疲れ様でした。そして後片づけを手伝ってくれたみんな、ありがとうございました。又こんな会もしますよ！



## さらに親交を深めて

(高24回生) 斉藤 美智子

平成26年9月27、28日14名の参加で一泊旅行をしました。平成25年は伊勢旅行、今回は白浜旅行。「どんな楽しき旅にしましょうか」有志の私達で、旅物語の始まりを考えました。彼の頑張り、彼女の頑張り、頑張りを集めて、素敵スケジュールを完成させました。9月27日JR新大阪駅出発ホームで集合。あの人来た、彼女まだ、と出発時間を気にしながら、やっと全員集合。一安心。

さあ、わくわく、いざ旅へ。電車に乗るなり男性は早速プッシュ！と缶ビール。ワイワイ、ガヤガヤと電車は走っていきます。白浜到着。

どこまでも、美しい碧き海空

どこまでも、楽しい響き笑顔

ほっぷ すてっぷ 葺合24 ジャンプ。気分は最高！

足湯めぐりをしてそして夕食。楽し

きことこの上なし。

28日は三段壁。バスを降りて歩きます。若いはずが歩くのに抵抗のある方も。

20代の女性のグループ、男性は写真を撮ってあげるのを口実に話し込みニヤニヤ。

高校の時と変わっていないと再認識。

一気に43年前にワープ。本当にいい同級生です。



ご一緒した皆さん、楽しき旅物語。そう、思われた事でしょう。きっと！

旅の終わりに、みんなでああくなって、手を重ねて、心合わせて、頑張っていこうエールを。

心に、みんなの心に明かりを灯して、心のおみやげを持って帰りました。



## La Belle Equipe24期生

(高24回生) 上田 博司

素晴らしい良き仲間「葺合24期」。

還暦を越える齢を迎えてなお元気一杯の仲間達、(葺合24ひろがり)と名打ち機会有ることに集っています。



最初に集まったのは卒業後20年を経て集合が掛かりました、もう23年も前のことですが久々の再開した友人との楽しかったひと時はいまだに忘れられないものです。

その時をきっかけに数年ごとの同窓会、その後進木幹事長の下各幹事や手強い仲間の多大なる労力のお陰で現在は年数回の集まりが有ります。

4月第1日曜日：恒例花見の宴(母校向かい・王子体育館北側の公園にて)。夏のBBQやビアガーデン、日帰り散策旅行、最近は一泊旅行(今年は北陸?)。

今は無き?葺合高校落語研究会OBの幹事長が主幹する落語会等。

「葺合24 “ひろがり”」と言うブログサイトでは仲間の色々な近況がアップされ諸行事の予定などが知らされより一層の親睦を深めています。



当時全く縁の無かった同期生とも和気あいあいと話した飲み、憧れの存在だった女性達とも気楽にお喋りが出来ます。

最近は健康の事や孫の事などが話題に上る事も多いですが本当に楽しく過ごせる仲間です。

そして昨年11月8日北野ガーデン(同期篠倉氏が総支配人)にて開催の同期会で私が何よりも24期生の友としての素晴らしい実感する出来事がありました。

私事ですが昨年再婚をしました、同期の仲間は妻のことを知る者も多く私に内緒でその計画をしていたらしいのです。

今年の会はなにやら特別なイベントが有るとかで、なんだろうと開宴を待っていました。

それは同期会が始まった直後。

作曲家をしている大政君がピアノに座っていたのですが突然ウェディングマーチの響き扉が開くと、なんと妻の白いドレス姿が。

私は何事があったのか?なんだなんだともう慌てふためき、ええ〜!と。

妻は友人にエスコートされ皆の前へ、私も呼ばれ前へと引張り出されました。

そうです、同期の皆や御来席の恩師先生方の前で二人の結婚式を挙げて頂いたのです。

入籍はしたもののこの歳だし、式なんて全く考えていなかったのもう大感激。

本当に素晴らしい仲間「葺合24期生」永遠の栄あれです

文末ですが、葺合高校並びに同窓会会員の益々のご隆盛ご多幸を心より祈念申し上げます。



## 40年ぶりの再会 ～葺合高校25回生の会～

(高25回生) 谷口 時寛

私たち高校25回生は、昭和48年3月卒業後、40年が経過し、いよいよ人生の節目である還暦を迎えるに当たり、初めて同窓会を開催しました。会場は、神戸トアロードホテルで、5月17日(土)73名が集まりました。

筒台会からは、ご多忙の中、古川会長にお越しいただき、母校の近況や建て替え状況、「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」に選ばれたことなど、有益なお話をお聞きできました。(最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。)それから、物故者の黙とうを行い、乾杯、そして、待ちに待った懇談へと移りました。

月日の経つのは早く、「紅顔いづくに去りにしか」ということを実感しました。最初はぎこちない雰囲気でしたが、立食形式で、移動が自由なため、それぞれのテーブルで思い出話に花が咲き、大変盛り上がり、そして、宴半ばで、各組ごとに近況報告が行われました。自己紹介が次々と続き、その豹変ぶりに歓声が上がると、会はどんどん進行し、ついに、校歌斉唱で幕を閉じました。

そして、恒例(?)の2次会へと場所を移しました。大半のメンバーが参加し、お酒の勢いもあり、入れ替わり立ち代わり人の輪ができます。名刺の交換・携帯番号やアドレスの確認、これを契機とする交友の輪の広がりが実感できます。あの高校の3年間、この広い世界の中で時間を共有した者だけが、味わうことができる貴重な体験です。

今回、このような機会を設けてくれた湯浅さん・永原さん・清元さんを中心とする皆さんに心から感謝申し上げます。今後、どんな形でも同窓が集える企画が、全体だけでなく、今回できたネットワークを活用して、個々にでも継続できるよう、期待しております。

次は、古希・喜寿・米寿と、節目の年が待っています。健康でまた会える日を楽しみにしています。



## ソフトテニス部OB・OG会の報告について

(高38回生) 田中 孝幸

## 【ソフトテニス大会】

当部におきまして、平成26年度も母校校舎の建替え工事中とのことにより、校外の大和公園(灘区)のテニスコートを借りて平成26年8月16日の午前11時よりテニスを行いました。当日は小雨模様の天候ではありましたが、OBとOGを合わせて約20名が集まり、本番さながらの白熱した試合形式では現役時代を彷彿させるファインプレーも多々見ることもできました。とても健康的に体を動かすことができました。また、一部のOB・OG会幹事により母校へ赴き、毎年恒例の現役部員へのボール進呈と激励を行いました。(男女現役部員へボール進呈を行いました、男子部員は帰宅してしまっていたので、撮影画像は女子部員のみとなっております。)

## 【総会・懇親会】

ソフトテニス大会と同日の午後6時からは、「北野ガーデン（こちらの総支配人も葺高卒）」にて、総会と懇親会を行いました。総会では、平成25年度の会計報告を行い、その後は懇親会となり、お店の素晴らしい雰囲気と料理でOB・OGたちと懇親を深めることができました。

新校舎が完成すれば、母校でのソフトテニス大会を行うことを考えておりますので、OB・OGの皆様におかれましては多数のご参加をお願い申し上げます。



大和公園でのテニス会H26.8.16



現役へのボール進呈H26.8.16



北野ガーデンでの総会懇親会

## 「葺合高校のあゆみ」について

筒台会副会長 大庭 義 弘

昨年5月に当会会員の方から神戸市教育委員会へ「葺合高校のホームページに掲載されている学校のあゆみ」について一部不明確な点があるとの連絡があり、同教育委員会で調査・整理して頂いた「葺合高校のあゆみ」について報告させていただきます。

本校の母体となる神戸市立神戸中学校（旧制）は、昭和14年4月に神戸市立最初の旧制中学校として現在の校地で開校し、昭和18年4月に神戸市立第一中学校（旧制）と校名変更された。

終戦後、新学制の制定により昭和23年4月に新制高校として神戸市立神戸高等学校に校名変更され、さらに昭和25年7月には兵庫県立夢野台高等学校（前身は兵庫県立第二神戸女子高等学校）と統合されて兵庫県立神戸市立神戸夢野台高等学校と改称された。その後、昭和26年4月に神戸市立神戸高等学校は、現在の神戸市立葺合高等学校に校名変更され、校地も開校の地である野崎通1丁目に戻ってきました。

一方、昭和24年4月に雲中小学校の地で“男女共学制・学区制・総合制”の高校三原則をもとに神戸市立灘商業高等学校（前身は旧制神戸市立商業学校）を取り込んだ“総合制”高校として神戸市立葺合高等学校が普通科・商業科の併設で誕生している。

昭和26年4月に神戸市立神戸高等学校から校名変更された神戸市立葺合高等学校は、昭和24年4月に校名変更した神戸市立葺合高等学校（普通科・商業科）から普通科を取り込み、新たな神戸市立葺合高等学校（普通科）として歩みだし現在に至るものである。

神戸市立葺合高等学校のルーツを考えると、昭和24年4月に校名変更された神戸市立葺合高等学校（普通科・商業科）に遡ることができ、また、神戸市立第一中学校と神戸市立神戸高等学校の卒業生の学籍を本校が保管していることも紛れもない事実であり、高校1回生が神戸市立神戸高等学校の昭和24年3月卒業生であることも納得できるものである。

以上を取りまとめた「葺合高校の学校沿革図」等詳しくは、母校ホームページ又は筒台会ホームページをご参照ください。

最後になりましたが、この「葺合高校のあゆみ」について調査・整理して頂きました神戸市教育委員会の新井先生及びご協力頂きました母校西尾校長をはじめ関係各位に深く感謝致します。



# TOPICS 母校トピックス

## 早く広く知らせる「葺合ニュース」

広報企画部では、活動の一環として「葺合ニュース」を発行しています。「葺合ニュース」の目的は大きく2つあります。まず在校生の保護者や地域の方々に葺合高校の生徒のがんばっている姿を広く知っていただくためです。2つめには、中学生とその保護者及び中学校の先生方に葺合高校の生の姿を知っていただき、進路を決定するときの参考にしていただくためです。

この目的のためにやってきたことは以下の通りです。

- ①行事ごとに「葺合ニュース」を発行し、広く関係者に配布  
(例. オープンキャンパス、オープンハイスクール、葺高祭、体育大会)
- ②中学校訪問や中学校向け進路説明会での「葺高ニュース」の配布
- ③「葺高ニュース」を拡大して、行事終了直後に校門わきに掲示
- ④筒台会、筒友会などの会合で配布

広く人々に葺合高校の活動の様子を知っていただくために、これからも鋭意「葺合ニュース」を発行し、広報活動を活発に進めていきたいと思っております。

平成26年 4月10日  
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

# Fukiai News 2014 No.1

## 平成26年度 葺合高等学校 入学式



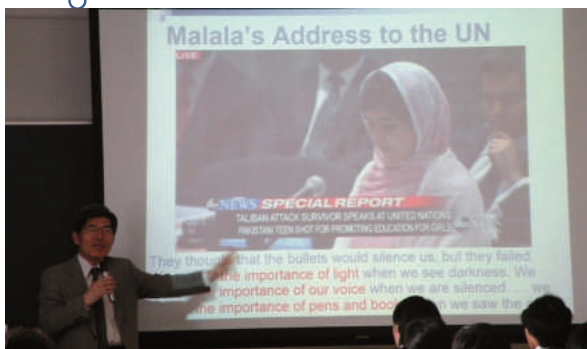
平成26年4月8日、うらかな春の陽光の下、国教科12回生、普通科69回生の入学式が行われました。今年度は校舎建て替え工事のため、神戸芸術文化センターでの開催となりました。会場周辺の桜もすっかり満開となり、新入生は期待を胸に入学式に臨みました。凛々しい起立の姿勢、元気な呼名、そして力強く会場に響き渡った校歌は、これからの彼らの躍進を感じさせるものでした。きっと彼らなら葺合高校に息づく伝統を継承し、さらに発展させてくれることでしょう。



平成26年 5月27日  
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

# Fukiai News 2014 No.8

## SGHの取り組み 大学との連携授業 第2回開催



5月27日(火)、SGH事業の一環として神戸市外国語大学の野村和宏教授をお招きし、「グローバル社会における英語スピーチのもつ力」をテーマにご講演いただきました。

前半はスピーチの目的、機能、スタイルなど、理論的な側面からお話をいただきました。後半は発音、感情の込め方、姿勢、アイコンタクトの取り方、緊張を減らすための方法など具体的なテクニックについて、グループ活動など実践練習も交えながら多くのことを教えていただきました。

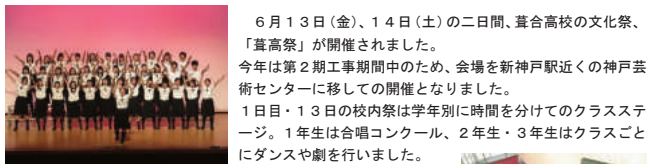
先生の的確なアドバイスだけでなく、コミカルな映像やユニークなパフォーマンスに、生徒は聞き入り、あっという間の2時間でした。彼らがこれからの英語の授業やスピーチコンテストなどで今日学んだことを生かすように期待しています。



平成26年 6月14日  
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

# Fukiai News 2014 No.13

## 葺高祭開催

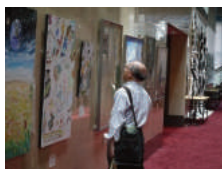


6月13日(金)、14日(土)の二日間、葺合高校の文化祭、「葺高祭」が開催されました。

今年度は第2期工事期間中のため、会場を新神戸駅近くの神戸芸術センターに移しての開催となりました。

1日目・13日の校内祭は学年別に時間を分けてのクラスステージ。1年生は合唱コンクール、2年生・3年生はクラスごとにダンスや劇を行いました。

2日目・14日の一般祭の午前前の部では、前日の校内祭で優れた演技をした1年・2年各4クラスの演技と、3年生全員によるステージ、放送部、ESS部、コーラス部、吹奏楽部の演技が行われました。午後の部では、有志グループ4チームによる歌やダンス、そして放送部・ESS部・コーラス部のステージに加えて、午前とは内容を変えての吹奏楽部の演奏が披露されました。最後の吹奏楽部の演奏では、1年生から3年生まで総勢109名の大合奏。どの演技も練習の成果を発揮して、それぞれに観客の喝采をあげていました。またホール周辺エントランスでは、美術部、書道部、写真部、文芸部の展示や、SGH指定にもなつてスタートしたGSS(グローバルスタディーズ研究会)によるポスタープレゼンテーション、茶道部によるお茶会も催されました。



平成26年 8月21日  
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

# 2Fukiai News 2014 No.22

## Open High School



日本史



化学



英語



情報



体育



意見交換会



8月20日、21日、普通科対象のオープンハイスクールが開催されました。新第1学区の拡大にもない、2日間で例年をはるかに上回る計1377名の中学生が参加しました。参加生徒は本校の案内生徒による学校紹介の後、体験授業を2種類受けました。その後意見交換会、個別懇話会を行いました。この行事が現中学校3年生にとって進路選択の一助となることを願っています。またアンケートでは多数ご好評をいただいたことで、学校紹介、資料準備、会場設営と頑張った本校の生徒の努力が報われたように思います。

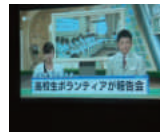
平成26年 9月4日  
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

# Fukiai News 2014 No.24

## 東北ボランティア報告会



参加した生徒と教師（宿泊所「グランディ21」）



サンテレビでの放映



映像を交えての報告の様子



教師の話を聞く参加生徒

9月4日、夏休みに参加した東北ボランティアの報告会が行われました。参加生徒は7月27日より4日間、宮城県南三陸町を訪れ、現地の志津川中学校、志津川高校の生徒と交流や、仮設住宅への支援物資の配布、草刈りや清掃活動、集会場でのお茶会をしました。多くの方々の支援や激励により、生徒は意欲的に活動し、貴重な体験をすることができました。彼らの活動は8月29日にサンテレビのニュース番組で放映されました。

報告会では、参加生徒は映像を交えながら現地での経験や感想を語りました。「復興には人と人とのつながりが大切である。」「被災地の人々は前向きで明るく、逆に力をもらった。」「歌の披露会を通して、心が一つにつながったような気がする。」など、本当に素晴らしい体験ができたようです。彼らの報告を聞いた生徒にとっても、貴重な学びの機会となりました。

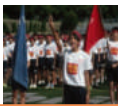
平成26年 9月13日  
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

# Fukiai News 2014 No.25

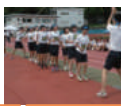
## 体育大会



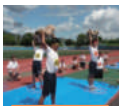
「ラジオ体操」



「選手宣誓」長谷川 結衣  
(体育委員長)



「大縄跳び」



「筋肉MEN」



「騎馬戦」



「棒奪い」



「ダンス」

9月13日、秋晴れの下、体育大会が行われました。昨年度同様、校舎建て替え工事のため王子スタジアムでの開催となりました。

午前中のプログラムでは、大縄跳びでの3年2組の連続56回、筋肉MEN(25kg)の砂袋を持ち上げる競技)での2年4組王子瀧太郎君の奮闘ぶりなど数多くの見せ場がありました。

午後は男子の騎馬戦や女子の棒奪いは大変スリリングな展開となりました。また、最後のダンスは体育大会を締めくくると見事なフィナーレとなりました。トータルの結果は右の写真のように2年生の圧勝でした。

準備、本番とも多くの生徒は数多くの場でそれぞれの役割をしっかりと果たしました。彼らの活力の源は「葦合愛」であることを十分感じさせてくれました。

1年	2年	3年
168	267	174

各学年総合得点のボード

平成26年 12月10日  
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

# Fukiai News 2014 No.35

## 第2学年 修学旅行



台中一中でのステージパフォーマンス(安楽餅の披露)



台中一中との文化交流



淡水での観光



熱気球の打ち上げ(十份)

12月10日から13日にかけて、2年生が台湾に修学旅行に出かけました。初日、関西国際空港から台湾の桃園国際空港へ向け出発し、現地到着後、九份を訪れ散策を行いました。二日目は姉妹校である台中一中校を訪問しました。盛大なセレモニーの後、班ごとに分かれ文化交流を行いました。また、台湾の伝統芸能である京劇を鑑賞しました。三日目は中正記念堂にて日本語を学ぶ学生を班ごとに迎え入れて班別研修へ出かけ、四日目はクラス毎に鳥来、淡水、十份の観光へとそれぞれ向かいました。各地で観光を終えた後、桃園国際空港に集合し、帰路につきました。

特に台中一中では「葦高生らしさ」を十分発揮し、心温まる交流ができました。穏やかな気候の下、思い出に残る素晴らしい修学旅行になりました。

平成27年 1月8日  
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

## Fukiai News 2014 No.36

### SGHの取り組み 格差・貧困・児童労働 フィリピンでの取り組み






1月8日(木)、本校1、2年生の生徒が兵庫国際交流会館を訪れ、NPO法人ソルトバヤタス代表の小川恵美子さんより「格差・貧困・児童労働 フィリピンでの取り組み」というテーマで講演をしていただきました。小川さんは貧困に苦しむフィリピンの人々の生活支援、子どもたちの教育支援を10年間行っておられます。講演では、主に現地の子どもの状況やソルトバヤタスの活動について、写真や映像を交えて紹介していただきました。手袋もつけずにゴミ山からリサイクル可能な物品を探したり、家電のケーブル類を燃やして希少金属を取り出したりしている子どもの実態や、そのような状況下でも彼らが東日本大震災の被災者に募金を行った事実の他、現地でのライフスキル教育、収入向上支援、日本国内のフェアトレードの販売活動など、日本から行われている支援についても、お話をうかがいました。

最後に、世界の人々と考え、行動できる人々になるための重要なキーワード「**知る、伝える、買う、つながる**」について教わりました。これは現状を知り、それを仲間に伝え、現地の人々の商品を買う、そしてさらに協力の和を広げることの意味です。講演の後、質疑応答の時間がありましたが、多くの生徒が質の高い質問を行いました。この講演の内容が生徒たちの視野を広げ、さらに国際感覚が養えるように期待したいものです。

平成27年 2月17日  
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

## Fukiai News 2014 No.41

### International Day







2月17日、6・7校時にインターナショナル・デーが開催されました。神戸市の外国人指導助手26名と神戸大学・神戸芸術工科大学・甲南大学の留学生19名、総勢45名をお招きし、本校の1年生の生徒と盛大な交流会を行いました。

6校時は武道場にて、全体交流会が行われ、外国人の先生方による自己紹介、歌の披露、クイズショーなど、ユニークで楽しい時間を過ごすことができました。また、国際科の生徒がSGHの活動を日本語・英語を交えて紹介する場面もありました。

7校時は、各クラスで交流の時間を持ち、外国人の先生が出身国について、生徒が日本のポップカルチャー、食事、ファッション、伝統行事について紹介し、その後、フリートーキングを行いました。どの生徒も積極的に英語でコミュニケーションを図り、国際交流の楽しさを十分体感しました。

### 平成27年度 教 職 員 異 動

<退職>	前 田 試 延 (教諭)	英語	葺合高校・再任用教諭	昭和57年4月から33年間勤務
	荒 木 貞 次 (教諭)	保健体育	葺合高校・再任用教諭	平成3年4月から24年間勤務
	藤 岡 孝 弘 (教諭)	数学・情報	葺合高校・再任用教諭	平成6年4月から21年間勤務
	本 條 雅 代 (教諭)	国語		平成4年4月から23年間勤務
	井 上 道 子 (常勤講師)	家庭	常磐高等学校・時間講師へ	平成25年4月から2年間勤務

<転出>	大 野 毅 (教頭)		市立盲学校長へ	平成26年4月から1年間勤務
	金 生 剛 史 (教諭)	数学	教育委員会指導課指導主事へ	平成22年4月から5年間勤務
	吉 岡 治 仁 (事務職員)		兵庫商業高校へ	平成24年4月から3年間勤務
	岩 井 ゆかり (事務職員)		中央区まちづくり推進部へ	平成20年4月から7年間勤務
	右 田 幸 栄 (臨時事務職員)		神港高校へ	平成26年4月から1年間勤務

<転入>	清 家 豊 (教頭)		教育委員会指導課指導主事より	
	榊 井 伸 司 (教諭)	英語	楠高校より	
	宮 崎 仁 史 (教諭)	保健体育	兵庫商業高校より	
	大 石 英 樹 (教諭)	国語	兵庫商業高校より	
	直 井 裕 明 (教諭)	国語	神港高校より	
	谷 口 安 代 (教諭)	数学	神港高校より	
	伊知地 薫 (教諭)	家庭	神港高校より	
	伊 原 直 宏 (常勤講師)	英語		
	若 松 稔 之 (常勤講師)	保健体育	葺合高校時間講師より	
	梅 本 友 樹 (常勤講師)	数学	歌敷山中学校常勤講師より	
	嶺 山 典 也 (事務職員)		中央図書館総務課より	
	西 江 千 春 (臨時事務職員)		科学技術高校より	

平成26年度

# 部活動の主な成績

## 【運動部】

### ◆陸上競技部

- ・神戸市総体 男子やり投げ 3位
- ・兵庫県ユース選手権 男子400Mハードル 1位  
女子100Mハードル 2位
- ・近畿ユース選手権 男子400M 3位

### ◆水泳部

- ・神戸市総体 女子50M背泳 1位  
女子50M平泳 2位  
男子100M背泳 2位

### ◆女子硬式テニス

- ・兵庫県公立高校大会 団体戦 3位
- ・兵庫県ジュニアテニス大会 ダブルス準優勝
- ・近畿公立高校大会出場

### ◆なぎなた部

- ・神戸市総合体育大会 団体演技の部 1, 2, 3位  
演技の部 1, 2, 3位  
団体試合の部 1, 2位  
個人試合の部 2, 3位

### ◆少林寺拳法部

- ・兵庫県新人大会 女子団体演武 3位  
男子規定組演武 3位, 5位  
女子規定組演武 1位
- ・近畿高校少林寺拳法大会 女子規定単独演武 5位
- ・全国大会出場

## 【文化部】

### ◆放送部

- ・NHK杯全国放送コンテスト アナウンス部門 入選

### ◆美術部

- ・神戸ユニバーサルデザイン大賞 一般の部 優秀賞  
兵庫県小中高校絵画展 特選

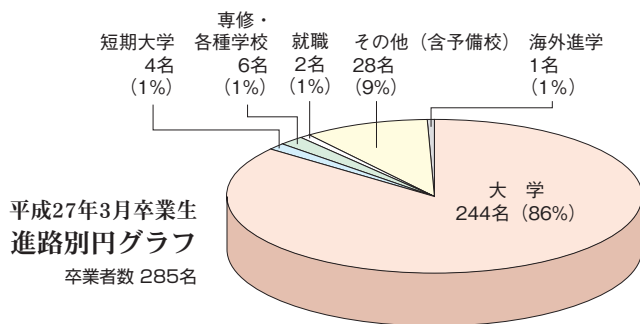
### ◆ESS部

- ・兵庫県高校英語スピーチコンテスト 2位、5位
- ・チャーチル杯全日本英語弁論大会 西日本大会 3位  
全国大会 3位

平成26年度

# 卒業生進路状況

※ 数字はすべて延数で、既卒者も含む  
 ※ 個人情報保護の観点から連絡のない大学・予備校等もあるため、実際はもう少し多いと思われます。



## 国公立大学

宇都宮大 1	筑波大 1	お茶の水女子大 1	東京外国語大 1
山梨大 1	京都工芸繊維大 2	滋賀大 2	大阪大 5
神戸大 4	奈良教育大 1	奈良女子大 1	和歌山大 1
高知大 1	九州大 1	長崎大 2	琉球大 1
国際教養大 1	都留文科大 1	京都府立大 1	大阪府立大 1
大阪市立大 2	兵庫県立大 6	神戸市外国語大 5	神戸市看護大 1
岡山県立大 1	高知県立大 1		

26大学46名

## 私立大学

早稲田大 2	上智大 4	津田塾大 1	明治大 5
立教大 2	京都女子大 3	同志社大 69	同志社女子大 7
立命館大 47	龍谷大 19	佛教大 3	京都外国語大 7
京都産業大 5	関西大 68	関西外国語大 14	近畿大 63
大阪工業大 11	大阪医科大 1	武庫川女子大 18	関西学院大 130
神戸女学院大 3	甲南大 46	甲南女子大 16	神戸学院大 14
神戸女子大 13	神戸親和女子大 6	神戸薬科大 2	兵庫医療大 5

など64大学632名

## 短期大学(短期大学部を含む)

産業技術短大 1	神戸女子短大 2	武庫川女子大短大部 4	3大学7名
----------	----------	-------------	-------

## 専修各種学校

神戸中央病院付属専門学校 1	大原簿記 1	兵庫歯科学院専門学校 1	など6校6名
----------------	--------	--------------	--------

## 海外進学

2

## 公務員

1

# フェニックス賞

このメダルは本校菊川晋久元教諭の作である



メダルは金賞、銀賞及び銅賞

母校では、学校生活や地域社会における諸活動に、特に積極的、継続的に取り組んだ生徒を表彰するためにフェニックス賞を設けています。下記の部門があります。

● 3か年皆勤の部(金賞)	● 部活動の部	<b>平成26年度卒業生受賞者数 178名</b>	
● 2か年皆勤の部(銀賞)	● 生徒会活動の部	3か年皆勤の部 48名	部活動の部 31名
● 1か年皆勤の部(銅賞)	● 善行の部	2か年皆勤の部 27名	生徒会活動の部 9名
● 奉仕活動の部	● HR活動の部	1か年皆勤の部 31名	
● 研修の部	● 国際交流の部	奉仕活動の部 2名	
● 努力の部		努力の部 30名	

## 「フェニックス賞」の由来

フェニックスは本校玄関前にそびえる大樹であり、また、灰の中から何度も生まれ変わる霊鳥の名前でもあります。大樹のようにたくましく、不死鳥のようにいきごと、本校生徒が育つようにという願いを込めて名付けられました。

### 『神戸市立葺合高等学校校歌』

作詞 荒木良雄  
作曲 永井幸次

一、朝雲巻く峰を背にて  
 学校建てり山の気の  
 清しき処集ひたる  
 若人われらひたぶるに  
 努め励みて知識磨かむ

二、眸放てば遠く茅渟の海  
 展けて青しこの船路  
 世界に通ふ大いなる  
 未来の希望わが胸に  
 ひびく明るさ讃へ拓かむ

三、泉清らかに澄みて筒井台  
 揺がず高し敬愛の  
 ゆかしき心澆測と  
 若さにあふれ新たななる  
 真理求めて已まず努めむ

### 『神戸市立第一中学校校歌』

作詞 宮地雄吉  
作曲 弘田龍太郎

一、筒台の邊に旭さしそひ  
 匂出でし若木の櫻  
 繚乱の春を競ひて耀ふよ  
 おし照る日影

二、摩耶の嶺に高し青雲  
 我が胸の理想にも似る  
 見はるかす茅渟の大海遼遠の  
 ゆくてに通ふ

三、日の本の文化の泉  
 筒台の園にこそ湧け  
 流れては末も廣らに天の下  
 うるほしゆかん

### 『生徒歌』

作詞 原清水  
作曲 啓彰

一、春爛漫と咲き匂ふ  
 筒井が丘に新しく  
 友を迎へて今おどる  
 若さの集ひ葺合高

二、みどりに落つる布引の  
 岩もとどろに火花なす  
 力たくまし飛びしづく  
 わが青春の意気ぞこれ

三、月影清く天高き  
 秋筒陵の夜はふけて  
 空山落葉声もなく  
 思索の友のたたずめる

四、六甲摩耶に雪白く  
 荒涼万木枯れぬとも  
 やがて咲きなん若き芽は  
 下にほのかに萌ゆるなり

## Profile Interview

葺合高校OB・OGで各界、各層で活躍しておられる方々にお聞きしました。

- ① 氏名
- ② 職業
- ③ 卒業年度
- ④ その他
- ⑤ 現在の活動状況
- ⑥ この道に入るきっかけ
- ⑦ この道に入って一番うれしかったこと苦しかったこと
- ⑧ 将来の目標
- ⑨ 葺高時代の一番の思い出
- ⑩ 筒台会会員に一言

# この人に聞く



- ① 榎原 和美 (ならはら かずみ)
- ② コンサルタント
- ③ 昭和44年卒・第17回生
- ④ 葺合高校を卒業後、関西学院大学法学部法律学科に入学。関学も1968年は学園紛争に明け暮れ、卒業式も中止。その影響もあり、いまだに私の卒業証書は行方不明のままです。

⑤ 1969年に佐治敬三(当時社長)にあこがれて、ビール「純生」を拡販するビール営業を志願して、サントリー株式会社に入社。念願のビール営業部に配属されて、市場開拓のために酒販店とスナックやバー、居酒屋などの業務店にサントリービールの拡販を日夜お願いして回っていました。ほとんど、お酒が飲めなかった私でしたがビール営業部で鍛えられて、とうとう肝臓機能に変調をきたし、「脂肪肝」と診断されるはめになってしまいました。

そこで「このままビールや洋酒の営業を続けると、きっと体を壊してしまう」との思いに至り、一念発起して英語を学び直すことを決意し、営業活動の傍、まるまる1年半英語の勉強に集中します。その後で国際部への異動を自己申告して、あこがれの国際部への異動が認められます。

国際部に配属されて、すぐに当時通産省が運営する「貿易研修センター」に派遣されます。このセンターでは「English Only」のドミトリーでの合宿に放り込まれ3ヶ月間みっちり英語と貿易実務・外為業務を鍛えられました。ふりかえりますと、この「貿易研修センター」での修行がその後の国際部門で活躍できる素地・基礎を構築することができたと思います。

3ヶ月間の合宿研修を終えて国際部に戻ると、最重要市場であるアメリカ市場の開拓、新製品開発メンバーにいきなり加えられ、赤玉プラムワインの現地生産やいまでは世界的なリキュールとして有名になっているメロンリキュール「MIDORI」の開発を行いました。国際部門の仕事の右も左もわからない私が大きなプロジェクトに参加させられたのも、佐治敬三の口癖でもあった、あの言葉です。そう、NHK朝ドラママッサンの中で大将が言っていた「やってみなはれ」。この「やってみなはれ」には実は隠された前置きがあると私は感じています。それは、「やれるもんなら」、やってみなはれ、「やれるもんなら」があるとうすごいプレッシャーですよ。

その後、私は1984年からアメリカで5年間駐在、アメリカからの原料調達とサントリービールのアメリカ市場開拓にも従事。それ以来サントリーの海外事業の仕事に関わってきました。最後の仕事はシンガ



クアラルンプールのムルデカ広場で開催されたフェスティバルの出演者たちと

ポールに拠点があるセレボスピシフィック社の日本市場開拓でした。63歳でサントリーを退職。

その後、2014年4月からマレーシア・クアラルンプールでロングステイを開始、現在にいたっています。

- ⑧ マレーシアでMM2Hビザのメリットを活かして、インターネットビジネスの会社を設立して稼ぎたいと考えています。
- ⑨ 受験を控えて勉強をしなければならない時期に、毎日読書三昧でまったく受験勉強をしていませんでした。そんな私を進路指導担当の神田先生(後に校長となられた)に呼び出しを受けて、職員室で受験勉強をしないとこれから先の人生はお先真っ暗になるよ」「本は大学に受かってからいくらでも読める」「生活態度を改めなさい」などなどさんざん絞られました。それから一念発起して受験勉強を開始し、なんと葺合高校始めて以来「早稲田大学商学部」に合格することができました。でも、早稲田大学に進学しないで関西学院大学法学部に入学しました。この神田先生から受験勉強をめぐってしかられたり、絞られたりしたことが一番記憶に残っています。
- ⑩ グローバルに活躍できる人になってほしい。国際学科で多くの優秀な方が学んでおられるとのこと。うれしいかぎりです。68歳の私はマレーシアでまだまだ夢を追いかけて挑戦しますので、Follow me!

「マレーシアでのロングステイに関心がある方は遠慮なく、メールで私に問い合わせしてください。email:narahara77@hotmail.com」



インド人の新年であるDeepavaliの時の飾り付け  
着色したお米を丁寧に撒いてつくります。



- ① 織戸 新 (おりと あらた)
- ② 神戸新聞社 代表取締役専務
- ③ 昭和44年卒 高21回生
- ④ 新聞社の仕事のほか、JR三ノ宮駅前の神戸新聞会館（ミント神戸）の代表取締役社長を兼務しています。

⑤ 元々は新聞記者です。淡路や明石の地方勤務のほか兵庫県警や神戸市政担当記者など社会部育ちで、2002年、東京支社編集部長を最後にペンを取り上げられ（遊びすぎたのか）、まったく未知の経営部門に。企画や人事、財務といった仕事に携わり、今は新聞社を安定的に経営することに悪戦苦闘しています。

⑥ 一浪して関西大学法学部に進み、3回生のころだったか、沖縄返還をめぐる外務省機密漏えい事件が起き、毎日の政治部記者が逮捕されました。日米で密約があったかどうかは焦点のはずが、男女の情実に関心が移り、若かったせいか、「こんなことでいいのか」一と憤りを覚えたことが新聞記者を目指すきっかけとなりました。また学生運動が活発な時期で、関大構内でもヘルメット学生が「米帝国主義粉碎」などとアジテートしていました。あるとき、その学生が自販機で米国の象徴であるコカ・コーラを飲んでいるのを見て、「米帝粉碎を叫ぶなら、国産飲料を飲むべきやろ」と思った私は、新聞記者的な観察眼が芽生えていたのかもしれない。とあれ、それまでは就職は商社などを志望していましたから、人生はわからないものです。

⑦ 新聞記者の仕事（とくに社会部）は、大きな事件事故があれば何時でも飛び出していかなければなりません。昔も今もけっこうハードな職業です。ある程度は文章が書け、一般常識も多少必要ですが、頭でっ

かちは向きません。一に体力、二に体力、そして気力、好奇心などが必須条件です。自分がその条件を満たしていたかどうかはわかりませんが、少なくとも記者時代、嫌でやめたいと思ったことは一度もありませんでした。

苦しかったというか、青天の霹靂は、東京勤務から帰って、阪神淡路大震災で全壊した旧新聞会館の再開発（現ミント神戸）を命じられたことです。記者がいきなり不動産の仕事です。このとき、どんなに困難なことでも想念を凝縮して臨めば、必ず道が開けることを学びました。決してあきらめないことの大切さを知りました。

⑧ 相変わらずの「東京一極集中」ですが、日本が本当に個性豊かな国になっていくためには地方こそが主役にならなければ。新聞社を通して、少しでもお役に立てれば、と思っています。

⑨ 親の転勤で小学校から東京都内で転校を繰り返し、神戸に来てから一つの学校を学び終えたのは葺合高校が初めてです。「竹馬の友」を持つ同級生がうらやましい。学校ではプラスバンド部に在籍したことが懐かしい思い出です。実をいうと、私は卒業式に出ていません。大学紛争が高校にも伝播し始めたころで、もともとデラシネ（根なし草＝故郷喪失者）意識が強かったせいか、既成の社会に漠然と反発していたのかもしれない。これも「若気の至り」の思い出です。

⑩ 人間、歳をとるほどに学び舎や旧友のことが気になってくるようです。かくいうデラシネの私も、その気持ちが分かるようになってきました。お互いに年輪を重ねた同級生と会うのは楽しいですが、若い後輩たちが、学業で、また文化・スポーツで、社会活動で活躍する姿を見ると、とてもうれしくなりますし、誇りに思います。そういう意識が「母校愛」なのでしょうか。

第16回 親睦会

FSC2000  
Fukiai High School Sports Club

平成27年2月21日（土）18時から兵庫県教育会館ラッセホールにて第16回FSC2000親睦会が開催されました。野球・サッカー・ソフトテニス・剣道・バスケットボール・卓球のOB・OG合わせて60名の参加でした。今回は陸上部OB・OG会が担当幹事でした。

昨年不動譲前FSC会長からパトタッチした小西博明会長のご挨拶、北風雅頌筒台会相談役の乾杯音頭で歓談が始まり、先輩・後輩や部を超えて楽しい時間を過ごすことができました。途中、クラブ対抗カラオケ大会が始まり各部の精鋭？がのど自慢を繰り広げ、その後恒例のビンゴゲームで大いに盛り上がりました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、次回の担当幹事サッカー部の太田哲郎氏の中締めで懇親会を終えました。陸上部OB・OG会の皆様ご苦労様でした。



FSC2000 会長小西氏



北風氏による乾杯の音頭



陸上部 今泉氏



サッカー部 太田氏



## 平成27年度 筒台会役員(案)

顧問  
(常任)

9代校長 神 田 民 枝  
 10代校長 竹 内 静 夫  
 12代校長 絹 笠 清 二  
 13代校長 大 月 民 義  
 15代校長 小 嶋 良 平  
 16代校長 山 崎 秀 昭  
 17代校長 油 谷 健 夫  
 18代校長 二 宮 尊 志  
 19代校長 田 中 一 好  
 20代校長 田 阪 義 英  
 21代校長 西 尾 勝(現校長)

相談役  
(常任)

高8 北 風 雅 頌  
 高8 山 西 乙 平  
 高11 松 宮 功  
 高16 志 水 利 達

会 長	高18 古 川 浩	
副 会 長	高17 渡 部 隆	
	高21 達 脇 寛 高23 大 庭 義 弘	
東京支部長	高24 大 政 直 人	
総 務	高11 小 林 寛 子 高21 織 戸 新 高22 石 谷 健 次 高22 坂 本 裕 子 高24 黒 田 勇 高24 進 木 健 三 高27 坂 口 秀 昭	
	会 計	高33 増 田 精 三 高38 谷 口 昌 樹 高38 田 中 孝 幸
	会 計 監 査	高18 佃 健 治 高21 寺 内 修
	事 務 局	高27 北 風 公 基 (葺合高校) 高28 廣 田 たつ子 (葺合高校) 高39 兼 子 美 佐 (葺合高校) 高40 村 上 ひろ子 (葺合高校) 高41 辻 本 正 子 (葺合高校) 高59 木 下 智 彰 (葺合高校)

神戸市立葺合高等学校  
筒台会

平成27年度 定時総会及び懇親会

日 時 平成27年 6月27日(土)  
 受 付 PM4:30~  
 定時総会 PM5:00~(9Fラベンダー)  
 懇 親 会 PM6:00~(10F The Ballroom (3))  
 場 所 ANAクラウンプラザホテル神戸

## ～ 議 事 次 第 ～

1. はじめのことば
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議長選出
5. 第1号議案 平成26年度会務報告
6. 第2号議案 平成26年度会計報告
7. 第3号議案 平成26年度会計監査報告
8. 第1・2・3号議案質疑応答及び承認を求める件
9. 役員改選
10. 第4号議案 平成27年度事業計画案
11. 第5号議案 平成27年度予算案
12. 第4・5号議案質疑応答及び承認を求める件
13. 筒台会東京支部活動現状報告
14. おわりのことば

## ～ 懇 親 会 ～

1. はじめのことば
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 母校助成金目録贈呈
5. 乾杯
6. 会食および歓談
7. 万歳三唱
8. おわりのことば



## 平成27年度事業計画(案)

1. 会員相互の親睦と向上を図る
  - ・総会・懇親会への参加促進
  - ・同期会、OB・OG会、FSC2000、筒台クラブ等々との連携強化
2. 筒台会報の充実を図り全会員への配布を目指す
3. 母校及び在校生支援の強化
  - ・教育推進費、国際協力金、部活動支援金等
4. 筒台会ホームページの充実と有効活用



◎平成26年度 決算報告書◎

◎平成27年度 予算(案)◎

◇経常費

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	11,712,172円	総会費	1,636,502円
会費	3,312,900円	会議費	105,434円
総会参加費	532,000円	事業費	8,789,692円
会報協力金	1,755,460円	(内訳)	
(内訳)		事業費	365,542円
会報収入	1,196,000円	特別事業費	5,924,650円
会報広告料	559,460円	国際協力金	200,000円
運営協力金	1,161,210円	部活動支援金	300,000円
雑収入	721,619円	卒業記念品	499,500円
(内訳)		フェニックス賞	100,000円
バナー広告料	12,000円	教育推進費	200,000円
寄付金	63,923円	建替部活動経費	1,200,000円
受取利息	1,387円	通信費	1,117,320円
その他	644,309円	印刷費	1,363,740円
賛助会費取り崩し	5,964,362円	慶弔費	177,016円
		交通費	142,180円
		東京支部助成金	200,108円
		事務費	39,143円
		小計	13,571,135円
合計	25,159,723円	次年度繰越金	11,588,588円
		合計	25,159,723円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	11,588,588円	総会費	1,800,000円
会費	3,600,000円	会議費	200,000円
総会参加費	800,000円	事業費	2,800,000円
会報協力金	1,800,000円	(内訳)	
(内訳)		事業費	300,000円
会報収入	1,300,000円	特別事業費	0円
会報広告料	500,000円	国際協力金	200,000円
運営協力金	1,200,000円	部活動支援金	300,000円
雑収入	159,400円	卒業記念品	500,000円
(内訳)		フェニックス勲章	100,000円
バナー広告料	108,000円	教育推進費	200,000円
寄付金	50,000円	建替部活動経費	1,200,000円
受取利息	1,400円	通信費	1,200,000円
その他	0円	印刷費	1,200,000円
		慶弔費	200,000円
		交通費	200,000円
		東京支部助成金	300,000円
		事務費	100,000円
		小計	8,000,000円
合計	19,147,988円	次年度繰越金	11,147,988円
		合計	19,147,988円

※賛助会費を取り崩し葺合高校新体育館の綴帳、新筒台会室の家具備品納入に充てる。

次年度繰越金の状況

経常通帳	1,068,144円
定期預金	2,499,310円
郵便貯金	6,290,914円
郵便振替	1,170,470円
現金	559,750円
合計	11,588,588円

◇賛助会費

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,962,507円	賛助会費を取り崩して、	5,964,362円
受取利息	1,855円	経常費へ振替え	
合計	5,964,362円	合計	5,964,362円

次年度繰越金の状況

普通預金	0円
定期預金	0円
合計	0円

◎会計監査報告◎

上記の決算報告は会計監査の結果正確であることを認めます。

平成27年 4月 8日

会計監査 佃 健治

会計監査 寺内 修

❖ 平成26年度会務報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	出席者数	
1 平成26年 4月 8日(火) 「入学式」	役員 3名出席 母校	
2 平成26年 4月 9日(水) 「第1回役員会」 筒台会名簿発刊、 第47号筒台会報、役員・幹事総会	14名出席 神戸市勤労会館	
3 平成26年 4月17日(木) 「役員・幹事総会」 前年度決算・監査報告、本年度事業計画、 予算案、総会・懇親会開催案内他	35名出席 神戸市勤労会館	
4 平成26年 4月28日(月) 「会報47号校正作業」	6名出席 神戸市勤労会館	
5 平成26年 5月14日(水) 「第2回役員会」 第47号筒台会報発行、 総会・懇親会、ホームページリニューアル他	12名出席 神戸市勤労会館	
6 平成26年 6月19日(木) 「第3回役員会」 総会・懇親会、 会計業務サポート他	14名出席 神戸市勤労会館	
7 平成26年 6月28日(土) 「総会・懇親会」	198名参加 ANAクラウンプラ ザホテル神戸	
8 平成26年 7月17日(木) 「総会・懇親会の総括及び打上げ」	10名出席 「小瀧陽」	
9 平成26年 9月11日(木) 「第4回役員会」 総会・懇親会の総括、 今年度事業計画他	12名出席 神戸市勤労会館	
10 平成26年 9月13日(土) 「体育大会」	役員 3名出席 王子スタジアム	

	出席者数	
11 平成26年10月15日(水) 「第5回役員会」 母校の学校沿革について、 筒台会幹事の意識調査他	12名出席 神戸市勤労会館 (西尾校長、市教委 山下先生、同新井 先生出席)	
12 平成26年11月22日(土) 「第6回役員会」 幹事への意識調査結果、 第48号筒台会報他	14名出席 母校筒台会室	
13 平成26年12月18日(木) 「第7回役員会」 幹事への電話連絡結果、 忘年会	13名参加 「魚山人」	
14 平成27年 1月20日(火) 「第8回役員会」 第48号筒台会報、 平成27年度総会・懇親会会場、会計業務、 母校行事他	7名参加 神戸市勤労会館	
15 平成27年 2月17日(火) 「第9回役員会」 第48号筒台会報、 役員・幹事総会、会計業務他	12名出席 神戸市勤労会館	
16 平成27年 2月26日(木) 「筒台会入会式」	役員 5名出席 母校	
17 平成27年 2月27日(金) 「卒業式」	役員 4名出席 母校	
18 平成27年 3月 4日(水) 「会計担当者会議」	役員 6名出席 神戸市教育会館	
19 平成27年 3月18日(水) 「第10回役員会」 第48号筒台会報、 役員・幹事総会他	役員10名出席 神戸市勤労会館	

平成27年度

# 筒台会定時総会・懇親会のご案内

日時／平成27年 6月27日(土)  
 場所／ANAクラウンプラザホテル神戸  
 神戸市中央区北野町1-1  
 TEL(078)291-1121(代表)  
 ※神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結

- 内容** 定時総会 PM 5:00～(9F ラベンダー)  
 懇親会 PM 6:00～(10F The Ballroom(3))
- 会費**
- |                        |        |
|------------------------|--------|
| 神戸市立第一中学校卒業生           | 無料     |
| 平成22年度以前の卒業生           | ¥7,000 |
| 平成23～25年度卒業生           | ¥3,000 |
| 平成26年度卒業生(平成27年 3月卒業生) | 無料     |



▶ **KOBE**

母校の発展・支援の為、筒台会定時総会・懇親会にご学友お誘いあわせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

筒台会会長 古川 浩

多数の方々のご参加をお待ちします。

平成27年度

# 筒台会東京支部総会・懇親会のご案内

日時／平成27年 5月23日(土)  
 場所／新宿小田急ホテル  
 センチュリーサザンタワー21階パークルーム  
 (エレベーターを20階にて乗り換え)  
 TEL(03)5354-2155(宴会予約直通)

- 内容** 受付開始 PM4:30～  
 総会・懇親会 PM5:00～PM7:30
- 会費**
- |          |        |
|----------|--------|
| 一般男性     | ¥7,000 |
| 一般女性     | ¥6,000 |
| 中学卒業生    | 無料     |
| 学生 2年生以上 | ¥3,000 |
| 学生 1年生   | 無料     |



▶ **TOKYO**

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 神戸市立第一中学、葺合高校の卒業生で東京近隣に在住の方々にお集まり戴き、上記の通り総会並びに懇親会を開催いたします。是非ご出席を賜り旧交をあたためていただきたく存じます。

筒台会東京支部 支部長 大政 直人